お客様各位

■□＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝□

株式会社　京浜予防医学研究所

■□　ＫＭＬメールニュース　□■　　◆◆　VOL.90　◆◆

□
＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝□■
□■

株式会社　京浜予防医学研究所　よりお知らせ致します！
2020年　3月　28日発行
□■　https://www.kml-net.co.jp/

ＫＭＬメールニュースVOL.90をお送り致します。
お忙しい事とは存じますが御一読いただきまして、先生方の
一助としていただければ幸いでございます。

☆★　トピックス　★☆

【１】スギ花粉症／感作アレルゲンはスギだけとは限りません
【２】ＫＭＬインフォメーション　１月～３月分のお知らせ

１　スギ花粉症／感作アレルゲンはスギだけとは限りません

はじめに

患者さまにとって、非常に辛いスギ・ヒノキ花粉の季節となりました。
花粉症を含めたアレルギー性鼻炎の治療は薬物治療と原因になるアレルゲンの除去・回避が基本であり、そのためには正確な原因アレルゲンを同定する必要があります。
この時期に発症する鼻炎・結膜炎症状の原因アレルゲンとして、まずスギを疑いますがスギだけとは限りません。
今回は２月～４月にくしゃみ、鼻汁、鼻閉、眼症状などの花粉症症状を訴えているにも関わらず今まで血液検査などでスギ陽性と診断されたことがなく、スギ花粉症と自己診断している299症例を対象に血液検査（特異的IgE検査）を行った結果をご紹介します。

結果

１．対象

299名（男性175名、女性124名）、年齢は16～68歳（平均年齢：男性28.8歳、女性34.1歳）

２．方法

イムノキャップ法にて、スギ、ヤケヒョウヒダニ（ダニ1)、コナヒョウヒダニ（ダニ2)、ハウスダスト１（HD1)、ヒノキ、カモガヤ、シラカンバ、ネコ皮屑、ハンノキ、マツの10種を測定し、クラス２以上を陽性と判定とした。

３．結果

１）陽性率

スギ	・・・	７９％
ダニ１	・・・	５３％
ダニ２	・・・	５１％
ＨＤ１	・・・	５１％
ヒノキ	・・・	４９％
カモガヤ	・・・	４４％
シラカンバ	・・・	２０％
ネコ皮屑	・・・	１９％
ハンノキ	・・・	１６％
マツ	・・・	２％

２）スギ、ヒノキ、カモガヤの関係

スギ陽性236名中、ヒノキも陽性だった症例は145名（61%）

スギとヒノキ陽性145名中、カモガヤも陽性だった症例は82名（57%）
スギ陽性でヒノキ陰性91名中、カモガヤが陽性だった症例は41名（45%）
スギ、ヒノキとも陰性63名中、カモガヤが陽性だった症例は9名（14%）

スギ花粉症と自己診断している対象にアレルギー検査を実施した
ところ、スギのみならず、ヒノキ、カモガヤにも陽性を示した症
例が約1/3以上あり、2月～7月まで花粉症の症状を訴える可能性が
あります。
またダニやハウスダストの室内塵にも約半分の症例が感作されて
いる疑いがあります。

花粉症、アレルギー性鼻炎・結膜炎は典型的なⅠ型アレルギーの
ため、原因物質の除去・回避が有効な治療方法となります。
原因物質の特定にアレルギー検査をご活用ください。

参考文献
(1) 耳鼻咽喉科臨床 94 (12) ,1073-1078,200

2 ＫＭＬインフォメーション　１月～３月分のお知らせ

前回メールニュースを配信しました後から現在までに発行されま
した「ＫＭＬインフォメーション」についてお知らせ致します。

各インフォメーションにつきましては、医院様へ随時お届けして
おりますが、ご確認などに活用していただければ幸いです。

2020年1月24日　クラミジア・トラコマチス抗体　検査内容変更のお知らせ
https://www.kml-net.co.jp/information/pdf/2020-0304_01.pdf

2020年2月11日　依頼書注意点
https://www.kml-net.co.jp/information/pdf/2020-0304_02.pdf

2020年3月 5日　診療報酬改定に関するお知らせ（速報版）
https://www.kml-net.co.jp/information/pdf/2020-0305.pdf

■□＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

＼／ 最後までお読みいただきまして有り難う御座いました。

編集／発行　https://www.kml-net.co.jp/
株式会社　京浜予防医学研究所
〒216-0001　神奈川県川崎市宮前区野川 1432-1

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝□■